

——日本人は大腸がんに
よる死者数、罹患患者数がと
もに多い。

「2013年にがんて死
亡した人を部位別にみると、男性では肺、胃に次
いで大腸が3番目に多く、
2万5808人。女性は最
も多い2万1846人と
なっている。罹患患者数も10
年の全がんのうち、男性が
3番目、女性は2番目に多
い」

——大腸がんとはどのよ
うな病気か。

「肛門につながる直腸や、



教えて Dr.

協力・県医師会

腸の病気 ②

家崎医院 家崎 桂吾院長

生活習慣で大腸がん予防

それに続くS状結腸に特
にできやすい。良性腫瘍の
一部ががん化（悪性化）す
るものと、粘膜から直接
がんとして発生するものが
ある。大腸がんの進行は比
較的ゆっくりで、内側の粘
膜から発生し、進行する
にしたがって大腸の壁に
侵入し、大腸周辺のリンパ
節や肝臓、肺などに転移す
る」

——どのような症状があ
るのか。

「どの部分にがんができ
るかによって症状も変わ

る。主なものでは、血便や、
下痢と便秘の繰り返し、お
なかの張り、貧血などがあ
る」

「8割は直腸からS状結
腸にかけて発生する。便は
この部分では硬くなってい
るため、がんが発生すると
こすれて出血するので患者
も気づきやすい。一方、1
割は盲腸と上行結腸にでき
るが、ここでは便はまだ水
様で、出血しても便と混ざ
ってしまい、排便される際
に分かりづらい。自覚症状
も出にくいいため発見が遅く

なる傾向がある。肝臓に転
移しやすいため予後が悪
い」

「治療は内視鏡や腹腔鏡
で行うことが多い。進行が
んは開腹手術と抗がん剤治
療を行う」

——良性腫瘍のがん化は
どのように対処すべきか。

「イボのように飛び出し
たものの総称を『ポリープ』
といい、腫瘍と腫瘍以外の
ものに分けられる。良性の
腫瘍でも大きさが5ミリを超
えたらがんになるケースが
出てくるため、内視鏡で取

ることが多い。胃の場合は
ポリープがあっても問題な
いが、大腸では、ポリープ
が大きくなればがん化する
可能性が増すので注意が必
要だ」

——大腸がんの予防のた
めには何をすべきか。

「肥満、飲酒、加工肉の
過剰摂取などが大腸がんの
リスクと考えられている。
運動と健康的な食生活が
予防になる。大腸がんは出
血しやすいため、便中に血
が混ざっているかどうか
をみる『便潜血検査』が発
見に有効だ。早期に発見
すれば100%近く治る。
自覚症状がなくても、定
期的に検診を受けてほし
い」